

第5学年 年間指導計画（書写 全30時間）

学習の目標	
○文字の形、大きさ、配列などを理解して、読みやすく書く。 ○毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組み立て方を理解しながら、文字の形を整えて書く。 ○毛筆を使用して、字配りよく書く。	
学習の方法	
○めあてをもとに、子どもが自ら自己評価や相互評価を繰り返しながら練習する。 ○文字量の増加に伴い、速く、読みやすく書くために、自分で判断しながら書いたり、友だちの書き表し方のよさを学んだりする。 ○毛筆を使い、点画の基本的なことを効率的に書写のリズムを学んだりする。 ○毛筆で学んだ書写力を、日常生活の中で活用するために、硬筆と毛筆を関連させて学ぶ。 ○用紙、用具、材料、書式など様々なものを使う。	
学習の評価	
○単元の目標をどれだけ実現できたかによって評価する。 ○「よい子のあゆみ」では、国語の中の書写の項目で評価する。 ○評価の方法は、作品だけでなく制作中の様子、発表、メモなどとする。	
単元名	主な学習内容
1 はじめに	: 毛筆と硬筆の姿勢・筆記具の持ち方を確認する。
・姿勢と筆記具	・いろいろな筆記具の特性を理解する。
・学習の進め方	・学習の進め方を考える。
2 字形・書く速さ	・「旅」の点画のつながりを理解する。
・点画のつながり〈旅〉	・既習事項にも注意して、「旅」を整えて書く。 ・硬筆で、点画のつながりに注意して書く。 ・点画のつながりと書く速さの関連を理解する。 ・速く書く場面があることを理解する。 ・書く場合に許容される形があることを理解する。
3 字形	・「必」「要」の筆順と画の間隔を理解する。
・筆順と字形〈必要〉	・既習事項にも注意して、「必要」を整えて書く。 ・硬筆で、画の間隔に注意して書く。 ・漢字の似た部分の筆順の違いを理解し、筆順に従って書く。 ・間違えやすい筆順に注意して書く。 ・筆順と書く速さの関係について理解する。
☆生活に広げよう	・場面に応じて速く書く場面とゆっくり丁寧に書く場面があることを理解する。
・インタビューをしよう	・既習事項を生かして、読みやすく書く。
4 字配り	・画数の少ない文字は多い文字より小さめに書いて、つり合いをとることを理解する。
・文字の大きさ〈山道〉	・「しんによる」の書き方を理解する。 ・既習事項にも注意して、「山道」を整えて書く。 ・硬筆で、文字の大きさに注意して書く。
5 字形	・平仮名の点画のつながりや、穂先の動きを理解する。
・点画のつながり〈ひらがな〉〈きずな〉	・平仮名の「結び」の筆使いを理解する。 ・既習事項にも注意して、「きずな」を整えて書く。 ・相互評価をする。 ・硬筆で、平仮名の点画のつながりに注意して書く。
6 字配り・配列	・用紙に対する文字の大きさを理解する。
・用紙と文字の大きさ〈花さく町〉	・余白に注意して、字配りよく書く。 ・既習事項にも注意して、「花さく町」を整えて書く。 ・硬筆で、用紙と文字の大きさに注意して書く。 ・行の書きだしと終わりの位置を理解する。 ・行に対して適切な文字の大きさを書く。
☆生活に広げよう	・行の書きだしと終わりの位置を理解する。
・横書き	字間に注意して、横の行を整えて書く。
☆書いてみよう	・既習事項を生かして、丁寧に書く。
・竹取物語、枕草子	
☆生活に広げよう	・既習事項から自分の目当てを選んで、書き初めをする。
・書きぞめをしよう〈出発・新春の光〉	・小筆の持ち方や使い方を確認し、名前を丁寧に書く。
7 まとめ	・五年で学習したことをまとめる。
・まとめ〈星ふる夜〉	・自分の目当てをもって学習する。 ・自分の目当てに対して、自己評価や相互評価をする。
☆生活に広げよう	・既習事項を生かして、丁寧に書く。
・パンフレットを作ろう	・適切な筆記具を選択する。 ・折れ線グラフの書き方を理解する。
☆文字の話	・書く場合に許容される形があることを理解する。
・知っておきたいいろいろな書き方	